

令和5年度

第4回山鹿市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

令和6年2月9日作成

山鹿市地域公共交通活性化協議会 会長 柿本 竜治

【 日 時 】 令和6年1月29日(月) 15時00分～16時00分

【 場 所 】 山鹿市役所5階 501会議室

【 出席者 】 15名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
会 長	熊本大学(くまもと水循環・減災研究教育センター長) 教授	柿本 竜治
委 員	山鹿市区長協議会連合会(鹿北) 副会長	川崎 美明
委 員	山鹿市区長協議会連合会(菊鹿) 副会長	菊川 房継
委 員	山鹿市区長協議会連合会(鹿本) 副会長	緒方 昭弘
委 員	山鹿市老人クラブ連合会 会長	阿蘇品 欣友
委 員	山鹿市地域婦人会連絡協議会 会長	松尾 和子
委 員	九州産交バス(株) 営業部営業部長	岩永 謙二 代理: 本山 聡洋
委 員	産交バス(株) 営業企画課長	佐藤 正直
委 員	一般社団法人熊本県タクシー協会 専務理事	吉田 光義
委 員	山鹿市タクシー業者会 会長	宮崎 一雄
委 員	熊本河川国道事務所山鹿維持出張所 所長	松田 徹 代理: 佐々木 徹哉
委 員	熊本県 鹿本地域振興局土木部 維持管理調整課長	堀田 敬二 代理: 上田 邦彦
委 員	山鹿市 建設課長	淵上 邦広
委 員	山鹿市 市民部長	池田 淳志
委 員	熊本県 交通政策課審議員	高松 江三子

【 欠 席 者 】 8名 (敬称略)

区分	団体・役職	氏名
委 員	山鹿市区長協議会連合会(山鹿) 会長	徳永 龍二
委 員	山鹿市区長協議会連合会(鹿央) 副会長	上田 暢一
委 員	一般社団法人熊本県バス協会 専務理事	富田 廣志
委 員	堀川バス株式会社 取締役統括部長	田中 智太郎
委 員	全九州産業交通労働組合 副執行委員長	貢 博之
委 員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官	白石 勇人
委 員	九州運輸局熊本運輸支局 首席運輸企画専門官	田村 正宜
委 員	山鹿警察署 地域交通課長	星子 恭広

【 事 務 局 】 市民部 次長 山城 一夫
地域生活課 課長 豊田 義幸
地域生活課 審議員 田代 絹代
地域生活課 活動支援係長 阿蘇品 邦彦
地域生活課 主任 丸山 和也

【 計画策定業務受託者 】 復建調査設計株式会社 天野 佑介
河原 慶佑

【 議 題 】

◆協議事項

- (1) 山鹿市地域公共交通計画（素案）について
- (2) 山鹿市地域公共交通計画策定事業の事業評価について
- (3) その他

【 公開状況 】 公開

【 傍聴者数 】 0 名

【 所管課 】 地域生活課 活動支援係 (直通：43-1114)

【 発 言 要 旨 】

◆協議事項

(1) 山鹿市地域公共交通計画（素案）について

※事務局より資料を用いて内容を説明した。

<発言要旨>

委 員：公共交通機関を維持していくうえで、最後は財政負担額・収支率が一番重要になると思う。路線バスに対する財政負担額について、どのくらいの金額になれば路線の廃止を検討するといった基準はあるのか。財政負担額と収支率の評価については、運転手不足に伴うバスの路線の廃止・減便、働き方改革や2024年問題なども関連してくると思う。交通事業者の要望額通りに、議会の議決を得て補助を行っていくという考えなのか。

事務局：後期高齢者はしばらく増加傾向にあるが、高齢者全体は減少し、しばらくすると後期高齢者も減少していく見込みとなっている。市全体としても人口が減少していく状況であり、利用者の伸びが期待できないなかで、財政負担額の現状維持を目標として掲げている。あいのりタクシーについては、財政負担額を維持するためには相乗り率・収支率の向上が必要であり、10月の見直しでは運賃一律100円値上げを実施した。路線バスについては、学校の朝課外の廃止もあるというなかで、必要としない部分については減便の対象になると考えている。その対象となる部分については、バス事業者と協議・検討を進めながら、財政負担額を現状維持できればと考えている。現在の公共交通体系を維持しながら、利用者の利便性が低下しないようにしていきたい。

委 員：今年度9月末で鹿北線が廃止になり、市内完結路線については全て廃止となった状況である。残りの路線については、山鹿市以外の市町も通過する路線になるため、当然山鹿市だけでなく、他の市町の考えも踏まえた検討が必要になる。そのため、バス事業者・他市町と協議をしながら検討を進めることになると思う。

委 員：山鹿バスセンターに職員がいるが、産交バスの職員になるのか。

事務局：その通りである。

委 員：交通ICカードのチャージなどで山鹿バスセンターを利用しているが、将来的に無人になることを懸念しており、そうなれば熊本市内等に出向いて手続きをしなければならない状況が考えられる。山鹿市外から来られる方のご質問等にも対応されていると思うが、産交バスも経営が厳しい状況のなかで、市として考えはあるか。

事務局：市として全体的な事務を行うことは想定していない。山鹿バスセンターは産交バスに指定管理として委託している状況である。利用者の方にはご心配をおかけするが、今後も産交バスにも尽力していただけたらと思っており、関係者と協議を進めながら対応について検討していきたい。

委 員：市から説明があった通り、弊社が指定管理者として山鹿バスセンターの管理・運営を行っている。世の中全体の流れとして、運輸コストを下げなければならないという命題があるなかで、それに対して国も支援する動きが進められている。例えば、運行管理者という責任者がおり、運転手の点呼やアルコールの検査は対面で行う決まりであったが、通信技術の進展により、無人で遠隔で行ってよいという決まりに変わってきている。弊社においても、別の箇所では遠隔点呼の実験を行っている状況である。運転手の安全管理等を行う裏側の職員については、そういった技術を活用するということが可能だと思うが、やはり案内については人間で対応しなければならないと考えている。赤字だからすぐに撤退するということはないため、話し合いをしながら最善の方法でより良い方向に進めていきたいと考えている。

- 会 長 : 相乗り率を向上させないとあいのりタクシーの持続は難しいと思う。導入予定の配車システムについて、相乗り率の向上も含めて導入されるシステムなのか、それとも今までの予約を代替的に行うようなシステムなのか。
- 事務局 : 相乗り率の向上もあるが、システム導入により予約を一元化したいというのが一番の目的である。ただ、予約だけではなく、それぞれのエリアで最善の運行ルートを決めて、運行計画をご提示するが、最終的には運転手に判断していただくことになる。運行事業者の負担も考慮し、運行後の管理、実績報告まである程度対応できるようなシステムを考えている。詳しい内容については、様々なシステム事業者と協議を進めながら決定する。
- 会 長 : システム導入にはコストがかかると思うので、かえってコスト増にならないように検討を進めていただきたい。
- 委 員 : 路線バスやタクシーの運転手不足は喫緊の課題だと認識している。運転手不足への対応についても検討していくとあるが、何らかの手立てをお願いしたい。例えば、公共交通マップを作成する際に、運転手募集の広告を記載するなどしていただくと、交通事業者としては非常にありがたい。企業努力で運転手不足に対応している状況であるが、計画を策定しても、運転手がいなければ成り立たないという状況も想定される。
- 事務局 : 運転手不足への対応については、様々な手立てが必要になると考えている。施策として待合環境の向上を掲げているが、ベンチ等の設置だけでなく、ポスター等の掲示などによる周知にも努めていきたいと考えている。交通事業者と協議をしながら、そこで運転手不足についても周知が可能なのか、あるいは、様々な市の周知方法の活用等も検討し、より良い方向に進めていきたいと考えている。
- 会 長 : 他の自治体で2種免許の取得支援事業を行っているところはあるか。
- 委 員 : 国で2種免許の取得に対する補助金の募集が始まっている。
- 会 長 : 運転手の確保は容易でないと思うが、そういった支援も含めて情報発信していくと増えていくのではないか。情報発信の方法は工夫していただきたい。

<協議結果>

委員一同、異議なし（承認）

(2) 山鹿市地域公共交通計画策定事業の事業評価について

※事務局より資料を用いて内容を説明した。

<発言要旨>

委員から発言なし

<協議結果>

委員一同、異議なし（承認）

(3) その他

- 委 員 : 計画については概要版を作ってください、市民の方にも分かりやすく周知できればよいと思う。山鹿市ではバスを基本として、乗合タクシーでつなぐという分かりやすい体系となっている。そのあたりを周知して市民の方々に使っていただけるように、分かりやすく広報していただきたい。
- 事務局 : ご承認いただいた素案が成案となるまでのスケジュールについて、2月上旬から3月上旬までの約1か月間、パブリックコメントを実施し、その後、3月に活性化協議会を開催し、計画の最終承認をいただく予定としている。パブリックコメントでは、市民・利用者の方々から意見募集を行い、参考とすべきご意見やご提案については、計画に反映したいと考えている。活性化協議会の開催日については、3月議会の日程や柿本会長のご予定も

踏まえ、事前に調整させていただいており、3月21日（木）の午後に山鹿市役所で開催予定である。

会 長：本日ご意見を出されなかった委員の皆様につきましても、まだ修正は可能であるため、何かあればパブリックコメントでご意見をいただければと思う。活性化協議会について、何時に開始予定か。

事務局：現時点では14時開始を予定している。

(以上)